（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援スタジオ笑みりぃ～深井

公表日　　年　　月　　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	43%	43%		規定の利用定員ですが、毎日によって学年（体格）の偏りがあります。利用児の年齢も考慮してクラス編成を考えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	71%	14%		規定の人員配置を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	色テープで活動の場所がわかるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	71%	29%		利用クラスの終了ごとに消毒、清掃作業を行なっています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	相談室を何も物品がない状態にして、落ち着いて過ごしたり、クールダウンの部屋として使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	86%	14%		定期的に話し合いの場を設け、職員全員で振り返りを行なっています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年度末に保護者にアンケートに答えていただき、結果を職員全体で振り返り、業務の改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	終礼や支援会議、プログラムの相談など職員で話をする機会を多くとれるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	71%	29%		現時点では第三者による外部評価は行なっていません。今後実施できるよう検討しているところです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	86%	14%		全体講会等での研修は行なっていますが、外部で研修する機会を増やしていけるように努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し、ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	作成時に保護者と面談を行ない、ニーズや課題が反映されるように努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	終礼時に、利用児の共有を細かく行なっています。また、ケース会議や支援会議で共通理解しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画を職員全員で共有し、支援に当たっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	71%	29%		支援会議の中で、心理師（職員）の意見を共有しながら話を進めています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な課題が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	発達年齢や今後の成長について保護者と話し合い、必要な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	空き時間を利用して、チームで考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	同じプログラムにならないように考え、提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	職員間で利用児の状況を共有し、個別的な活動にも力を入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼でその日の支援内容や役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	毎日終礼時に、支援の振り返りを行ない共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	業務日誌で個人の記録をつけ、職員間で支援の情報共有をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一度見直しを行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	音楽のプログラム、祝日プログラムとも様々な活動を組み合わせて支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	小さなことでも自分で選び決める経験を積めるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管が中心で参加しています。状況に応じて指導員も一緒に参加することもあります。	
	27	医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%		より多くの関係機関と連携できるように努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて、送迎時に情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	71%	29%		そのような機会を設けられるように努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	71%	29%		当事業所は受け入れが小学６年生までの為、障害福祉サービス事業所への移行時に関わる機会が少ないですが、必要に応じて情報提供させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	57%	29%	今年度は県市障害児通所支援事業育成事業のスーパーバイズを受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	14%	86%		今後、交流の機会がもてるよう検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	43%	57%	極力、参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	支援の終わりや送迎時に活動の様子などをお伝えし、お家での様子も聞かせていただいています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	29%	71%		ペアレントトレーニングや保護者も参加できる研修等を行なっていきたいと考えています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学や体験時、契約の際に書面を用いて説明を行なっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援計画更新時には面談を行ない、お子様や保護者さんの意向を聞かせていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	支援計画の内容を説明し、同意を得た上で署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談や連絡ノートでのやり取りを通して行なっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会を開催しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ホームページのブログやインスタグラムで活動内容を掲載したり、ラインでお子様の活動の写真や動画を見ていただいています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取り扱いには気を付けています。また個人を特定されないよう注意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	絵カードや写真等の視覚支援を活用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%		今後地域交流が持てるようなイベントの開催を予定しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や事業所に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に訓練を行なっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定して、災害時の物品を購入したり訓練を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	体験時や契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	基本的に食べ物を提供していません。イベント等でおやつ等を提供する際は保護者さんに確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたなかで支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成して、月に１回安全点検を行なっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%		災害時の緊急連絡先の確認や死亡時に災害が発生した場合の避難場所などを保護者さんに周知しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット報告書を作成し、職員で共有し話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に虐待防止の研修を行なっています。	
	54	心のよりな場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86%	14%		身体拘束のマニュアルをもとに、必要に応じて保護者さんに相談援助型支援計画書に記載します。現時点での必要とする児童はいません。